

令和7年度 市岡中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3年	学校	146	52	40	6.6	9.7
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	468
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

<国語> 全国と比較して、「思考力、判断力、表現力等」について、「書くこと」の領域において-2.3ポイント、「話すこと・聞くこと」の領域において-5.8ポイント、「読むこと」の領域において-0.2ポイントと、いずれの領域においても下回る結果となった。一方、「知識及び技能」については、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は+1.6ポイントと上回った。また、無回答率については6.6%と、全国の6.7%と同等の結果となった。

<数学> 全国と比較して、「数と式」の領域において-7.6ポイント、「図形」の領域において-8.7ポイント、「関数」の領域において-7.6ポイント、「データの活用」において-10.7ポイントと、いずれの領域においても下回る結果となった。無回答率は全国と比較して低い数値であり、回答する姿勢に前向きであることがわかる。

<理科> 全国と比較して、平均IRTスコアは-35であった。

【今後に向けて】

○全国学力・学習状況調査結果

<国語>

「話すこと・聞くこと」における正答率を上げるために、対話的な活動を取り入れ定着を図る。

「書くこと」の領域における正答率を上げるために、昨年に引き続き単元の最後に、自分の意見や考えを文章として言語化できるように指導を行う。

<数学>

領域ごとにクラス編成を変更することで、苦手な項目にアプローチできるようにする。さらに、生徒の主体性を伸ばすために積極的にICTを活用する授業を実施する。「データの活用」については、昨年に引き続き、復習する機会を増やすとともに、問題文の意味を理解できる授業展開を継続していく。

<理科>

身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみるような授業を取り入れていく。

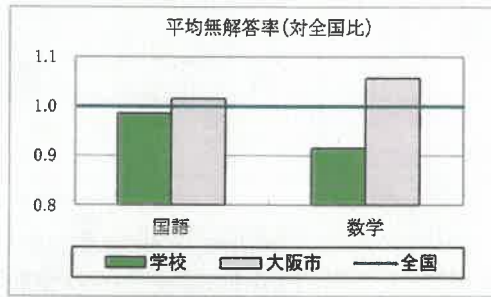
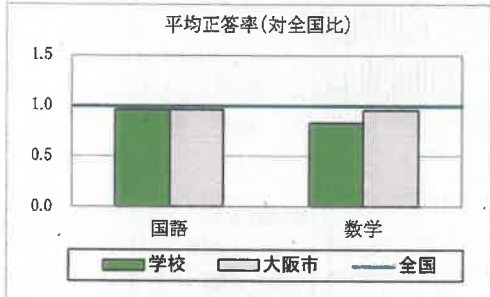
令和7年度 市岡中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	52	40
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	6.6	9.7
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6

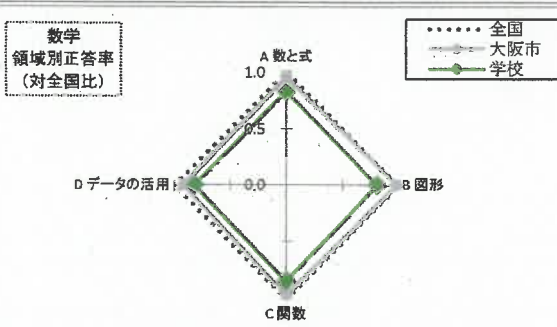
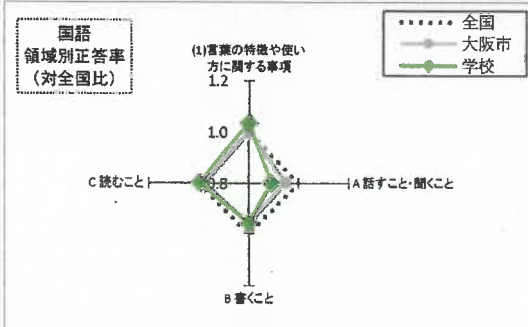
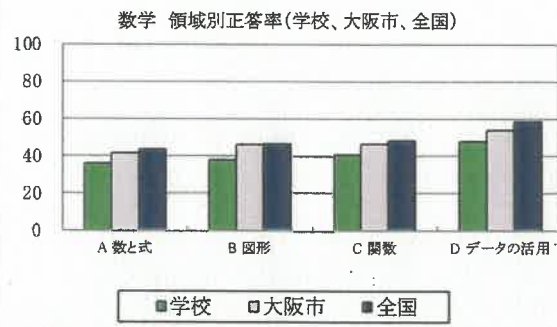
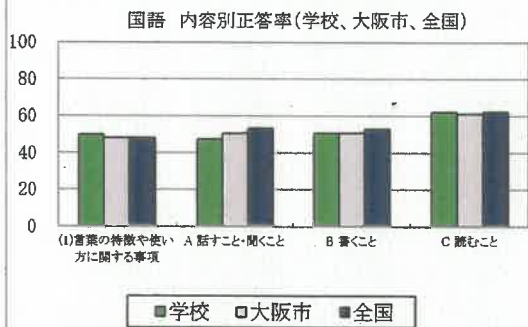


【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	49.7	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	47.4	50.4	53.2
B 書くこと	5	50.5	50.6	52.8
C 読むこと	3	62.1	61.0	62.3

【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	35.9	41.4	43.5
B 図形	4	37.8	46.1	46.5
C 関数	3	40.6	46.6	48.2
D データの活用	3	47.9	54.0	58.6

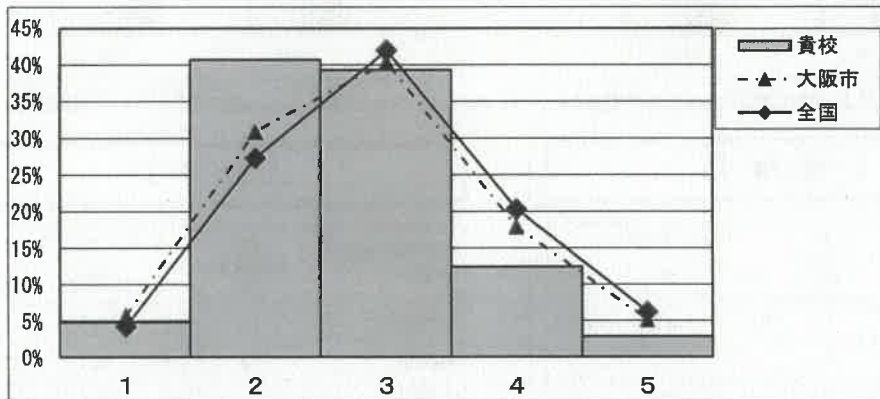
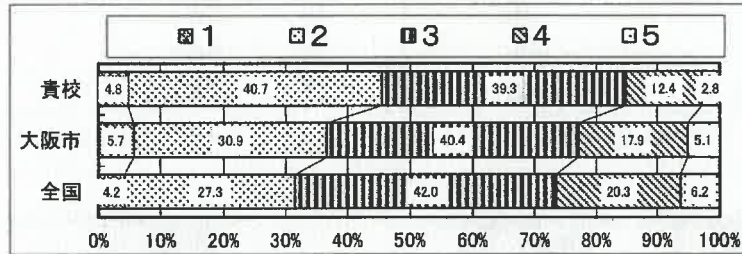


令和7年度 市岡中学校のあゆみ
 —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理科】

	平均IRTスコア
学校	468
大阪市	489
全国	503



令和7年度 市岡中学校のあゆみ

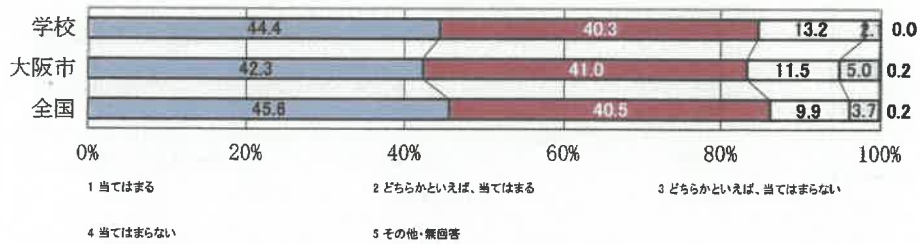
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

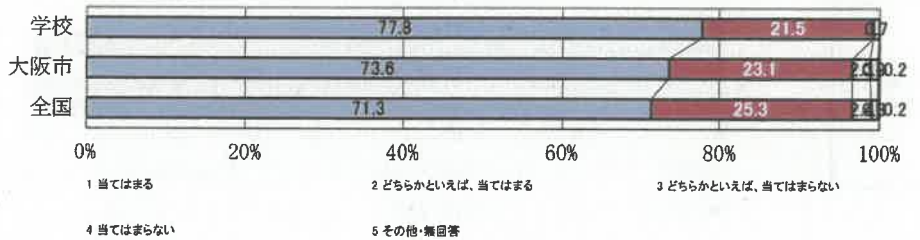
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

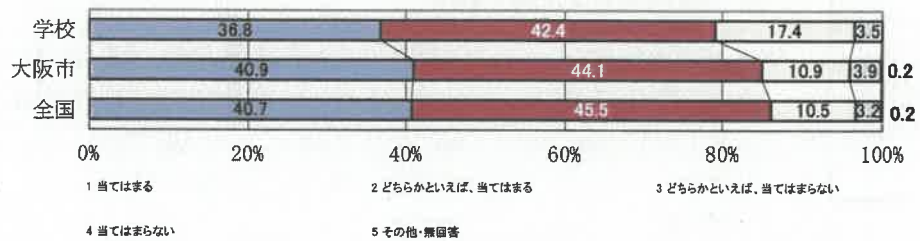
12
学校に行くのは楽しいと思えますか



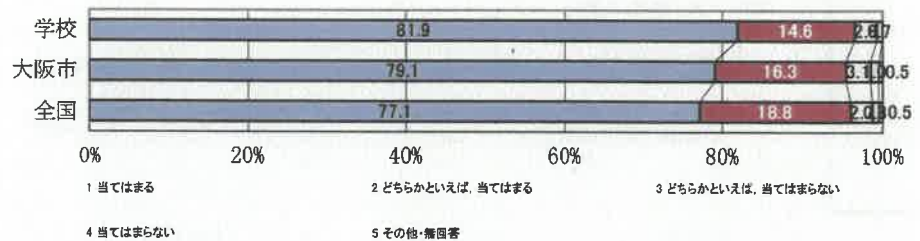
11
人の役に立つ人間になりたいと思えますか



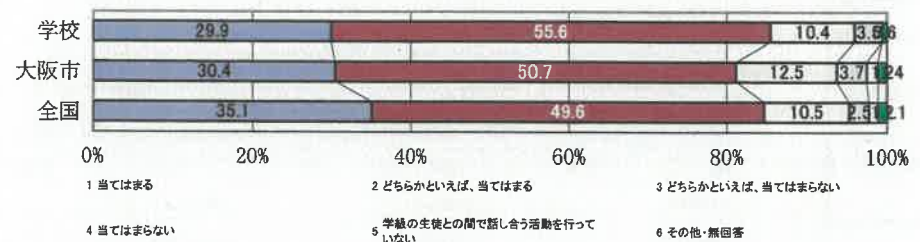
5
自分には、よいところがあると思えますか



9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



35
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



令和7年度 市岡中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

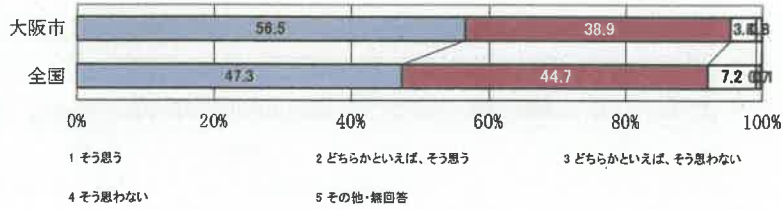
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いたと思いますか

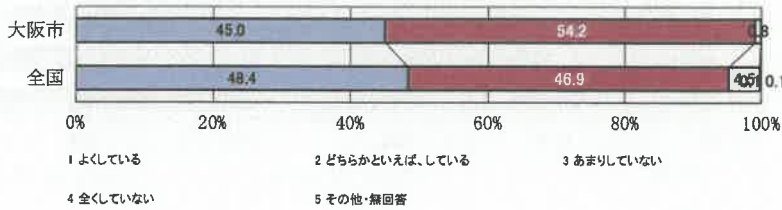
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

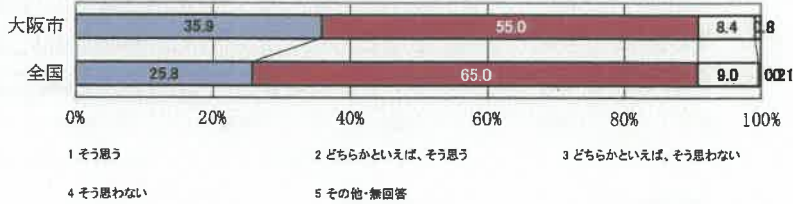
学校 「どちらかといえば、している」を選択



27

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

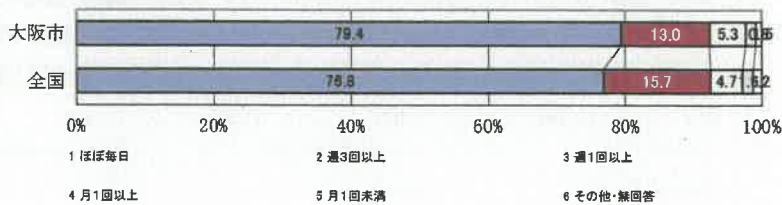
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



60

調査対象学年の生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「週1回以上」を選択

